

平成30年

なかに

12月

中谷自治センターだより

～私達の中谷、「今」。
そして未来へ～

発行者：中谷自治センター

センター長：渡辺 光一

電話番号：0247-26-1457

FAX：0247-26-3068

<今月の予定>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 ・いしかわスキップ広場 9:30	3 ・中田サロン 10:00	4 ・ニコニコ会打合せ(2班) 19:00	5	6 ・高齢者運動教室 9:00	7 ・子育てサロン 9:30 ・パソコン教室 13:30 ・敬老会、文化祭ボランティア慰労会 18:30	8 ・親と子の読書会 16:00
9 ・いしかわスキップ広場 9:30 ・まちづくり部会先進地視察 7:45 丸森町	10	11 ・ニコニコ会 12月例会(2班) 9:30	12 ・企画推進委員会 19:00	13 ・高齢者運動教室 9:00	14 ・子育てサロン 9:30 ・区長会忘年会 19:00	15
16 ・いしかわスキップ広場 9:30 ・親と子の読書会クリスマス会 9:30	17	18	19 ・福祉部会会議 10:00	20 ・高齢者運動教室 9:00 ・防犯パトロール 17:30 ・レディースセミナー 18:30 ・事業部会会議 19:00	21 ・子育てサロン 9:30 ・パソコン教室 13:30	22
23 天皇誕生日 ・いしかわスキップ広場 9:30 ・シニアスクール移動研修 東京 書道教室 9:00	24 振替休日 ・休館日	25	26	27	28 ・仕事納め	29 ・年末年始
30 ・年末年始	31 ・年末年始					

おかげさまで 30年7月11日で開店三周年 あなたの健康を第一に!



手作り
惣菜・弁当
オードブル

食彩 あすか

店頭販売
水・木・金
11:00 ~ 17:00



予約電話・ファックス 0247-26-8588

賑わった 中谷総合文化祭

11月3日、長寿会連合会（作品展示販売、野作物展示販売）、J I J Iカフェ、作品展示（22団体、延93名の作品）と押し花体験、オリジナルクリップ制作体験コーナーでは多くの方が体験をした。ボランティアによる人気のうどんコーナーには今年も大勢のお客さまが訪れ、天ぷらうどんの味を堪能しておりました。11月4日、の作品展示は昨年同様、販売はそば同好会の手打そばコーナーと生そば販売、区長会（あんこ餅）他7団体による販売、今年も参加された久之浜大久地域づくり協議会の皆さんによる魚類の販売と、チャンチャン焼きとアラ汁が無料で振舞われた。好天に恵まれた芸能祭は、特設トラックステージにて日本民謡しげる会をスタートに（10団体、延75名）民謡、日本舞踊、カラオケ、フラダンス、太極拳、よさこい（石川町・久之浜）すばらしい歌と、おどりを見せてくれました。大抽選会で盛り上がりを見せた後、区長会恒例のふるまい餅まきで最後をかざりました。実行委員の皆さん大変ご苦労さまでした。





☆一見の価値ある石川町文化財めぐり☆

11月10日、公民館主催の文化財めぐりに参加してきました。まちなか駐車場に集合、石都々古和気神社の狛犬、五重塔(小林和平作)・三芦城跡、徒歩にて御仮屋の狛犬、鈴木重謙屋敷の主屋及び門、バスにて移動、町立歴史民俗資料館にて町産出鉱物の説明を聞きましたが、石川町は、日本三大鉱物産地(岐阜県苗木地方、滋賀県田ノ上地方)であり百数十種類もの鉱物を産出する土地だそうで、認識を新たにしました。県内外の皆さんに町にある貴重な鉱物を見てもらう場所「仮称石川町鉱物資料館」が必要ではないでしょうか。バス移動で和久観音山鉱山跡見学、悪戸古墳群を見てまちなか駐車場に戻り解散しました。町にはまだまだたくさんの文化財がありますので、第2回、3回と文化財めぐりの企画を期待します。

☆今出川渓流をウォーキング☆

11月11日、今出川の清流を守る会で、5月に実施以降今年2回目のウォーキングが実施された。当日はセンターを9時に出発、片道3.7kmを渓流の紅葉を見ながら自分のペースで元気に往復しました。紅葉は終わりに近かったが素晴らしい道中の景色を楽しみ心地よい汗をかきました。健康に感謝!



☆大きく育ったさつまいも収穫☆

11月12日、石川小3年生93名による、中田農園にて5月に植えたさつまいも「紅はるか」掘りを体験した。大きく育ったさつまいもに歓声を上げ、さつまいもを掘り収穫の喜びを体験した。昨年以上の収穫があり子供達はお土産に収穫したさつまいもをいただき、旧中二小に移動温かいみそ汁をご馳走になり、弁当給食を楽しんだ。収穫したさつまいもは後日給食に出るそうです。



☆楽しい ニコニコ会 11月例会☆

11月13日、1班によるニコニコ会11月例会が22名の会員の参加で開催された。当日は「芳柳流すみれ会」の皆さまによる日本舞踊で、8曲の踊りが披露された。各曲共素晴らしい踊りと、劇風にアレンジした踊りで会場の皆さんと一緒に楽しみました。「芳柳流すみれ会」の皆さまありがとうございました。



☆食彩あかす八槻市に出店☆

11月23日、石川町恒例の八槻市が開催された。「食彩あすか」が出店し玉コン・いなり寿司・味おこわ・コロック・さつはスティックを販売した。当日は晴れ間も見せたが、気温が上がらず寒い1日であったが、大勢の買物客で賑いを見せ、準備した販売品も完売することが出来ました。あすかの皆さん早朝よりの準備ご苦労様でした。



中谷の民話

《昔 話》

谷沢薬師の由来

谷沢字戸賀の薬師は三十三の石段を登りつめた所に三間四面の堂がある。この中に高さ15cmほどの木刻本尊薬師如来が安置されている。昔から眼病の薬師として信仰が厚かったが、その由来については伝説さえ伝わっていなかった。今回坂路禎久氏宅の古文書類の中から「東奥石川郡戸賀郷泉庄谷沢薬師如来修造勸化状」が発見されたのでその大略を記す。

この状は谷沢薬師が天保九年（1838）三月十五日に全焼したためその再建を願って同年四月に廻状として出された原文である。これによればその昔坂上田村麻呂が大同年中（806～）東夷を征伐するためたまたまこの地を通る折のこと、戸賀の里から坤（ひつじさる=南西）の方角に天にそびえる大山あり、その昔三星が降りた処から地方では「星が入」今では「ほしがいり」と呼んでいる。この大山に赤鬼青鬼（山賊だったという）がすんでいて掛金橋（かながねばし）をかけこの住民を困らせると聞き、麻呂は早速この山に登って鬼を退治した。麻呂は此山の頂上に立ってはるか彼方を望むるに岩間から美しい水が出て水溜りとなっていたのでそこに至ってその清水で顔を洗い髪をなでつけられたことからこの水溜りを鬢盥（びんだらい）と名づけられた。今もこの水溜りはどんな真夏でも水枯れすることはない。麻呂は山を降って今の堂の近くにしばらく滞在されたが、このとき東夷を征するためここに薬師如来を勧請し安置した。

その後応永三十二年（1425年）第五十六代清和天皇の末孫福田次郎の末にあたる高倉治部助源重久はこの地方の領主となり戸賀の山に城を築いて地方を治めていたが、ある時重久は重い眼病かかり当時の医術をもってしても治らず困窮していたある夜のこと不思議にも重久の枕辺に薬師如来がお立ちになられておおせられるには「薬師堂のうらの薬木の葉を煮出して眼を洗い」とご指示があった。重久は翌朝二・三の家臣を連れて薬師様参詣の帰りにその薬木の葉を取り館にもどって眼を洗ったところたちまち全治した。降って天正四年（1576）源重高の代に至って東国が再び乱れ騒がしくなったので重高は戸賀の山に登り、陣太鼓や陣貝を打ち吹きならして大いにその威勢を示したが伊達政宗のために攻め滅ぼされた。以来この山は今に至るまで貝吹内太鼓館又は高倉館と称すという。

薬師堂は天保九年に焼失のあと再建されて現在に至っている。なお、谷沢薬師様の奥山に凹みのある大石がありこの地方ではこの石で鬼を煮たとの言い伝えから「釜石」と呼んでいる。また鬢盥の水の所には鬼が水を飲むとき手をついていたのでその爪跡が石に残っているという。